

大阪労連 雇用とくらしを守ろう ニュース

NO. 6

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 全大阪労働組合総連合

TEL 06-6353-6421 2009・11・2

23日に続いて派遣法宣伝

「近鉄を雇いどめになる」と

10月26日(月)、臨時国会の開会日、夕方6時過ぎから7時25分頃まで、天王寺駅東口において、「労働者派遣法の早期抜本改正を」署名宣伝行動を行いました。9単産から49名が参加し、元気の出る宣伝となりました。

中高年の派遣労働者は「近鉄で働いていたけれど雇い止めになる」と話しながら署名をしてくれ、労働相談センターの電話を紹介しました。

月末で派遣切りになるという若い男性は、待ち合わせをしていた友人も誘って署名をしてくれました。「頑張れよ」と声をかけながら通りすがり人、「若い人がかわいそう」「やっていることがひどい」と自ら積極的に署名に応じてくれる人もいました。約1時間半で75筆の署名を集めました。

各地ですすむハローワーク前宣伝

11月 8日国民大集会に持っていきます。

全労連は、失職した労働者の実態を把握し、政府に制度改善を迫ろうとハローワーク前のアンケート活動を提起しています。10月中旬の集計では、1000人以上を集約し、男性58%、女性42%。失職までの雇用形態は52%が「正社員」で、正社員の解雇が進んでいる実態があきらかになっています。大阪では、すでに、堺、池田、岸和田、布施、泉佐野、阿倍野の6カ所でとりくまれ、5カ所が予定されています。

阿倍野での様子が報告されましたので紹介します。

○10月30日午前8時から10時、あべのハローワーク前で失業実態アンケートを行いました。阿倍天労連から4人、大阪市地区協議から3人の合計7人でアンケート55、署名を14筆集めました。

事前にきいていたのですが始めるとすぐに職員とガードマンが敷地内ではしてくれないなどしつこく、十分対話はできませんでした。しかし、多くの方が気軽に応じてくれました。不倫のうわさを流されそれを理由に一方的に解雇されたという40代女性、子会社に出向させられ整理解雇、資格を30ももっているのに58歳という年齢でほとんど仕事が無いという男性、本来年配の人の仕事だった警備員などが青年の仕事になっていてまわっている、パートで7年くらい働いていたのに一方的に解雇され、中々仕事が見つからない、青年だけど精神障害をもって仕事が見つからないなど、深刻な実態が多く出されました。声をかければ労働者派遣法の署名も二つ返事で協力してくれました。みなさんにティッシュと相談の電話番号ののったリーフを手渡し何かあれば連絡くれるよう伝えながら、2時間近くの行動をおえました。

6カ所で235人のアンケートが集約されています。集約結果送ってください。